

文化財通信くまもと

第 19 号

平成 13 年 3 月
熊本県教育委員会

古代に
触れてみよう

県の文化課では、遺跡から発掘した土器や石器等(出土品)をたくさん保管しています。

これらの出土品は、地域の歴史の生き証人、古代の人々からのメッセージです。

県の文化課では、こうした出土品を学校や博物館などに貸し出しています。

本物の土器や石器などを間近に見て、古代に触れる絶好のチャンス。皆さんも古代に触れてみましょう。



古代からの プレゼント

～なぜ発掘するの～

遺跡は、昔の人々がどのように暮らしていたのか、周りはどんな環境だったのかなど、歴史の移り変わり(古代からのメッセージ)を知ることにより、「これから私たちはどのように暮らしていけばいいのか」を考えることのできる、ただ一つの手がかりです。

もし遺跡が壊されてしまいますと、そんな大切な手がかりを失うことになります。

ですから、私たちは、工事などの前に遺跡を発掘して、そこに隠された「古代からのメッセージ」を可能なかぎり集めているのです。

私たちは、このように集めたメッセージを古代からのプレゼントとして大切に保存するとともに、多くの人々に興味を持ってもらい、勉強してもらい、またいろいろな催し物で利用していただけるよう、仕事に取り組んでいます。

公開・活用の取り組み



展示

博物館・資料館等での展示



学習補助

体験学習・貸し出し教材として



情報サービス

インターネット等を通じて情報を公開

発掘調査の手順



1.表土のはぎ取り

現代の地層をパワーショベルで一気に掘ってしまいます



4.写 真

遺構や遺物の様子を撮影します

2.遺構確認

昔の家のあとなどを探します



3.掘り下げ

移植ゴテなどでいねいに掘っていきます



3.実 測

遺構や遺物の大きさや高さを測って図にします

さまざまな工事で壊される遺跡の発掘を行っています。

調査では、昔の暮らしを復原するために、出土品がどれくらい前のものなのか、昔の人々が何を食べていたのか、周りにはどんな環境だったのかなど、さまざまことを調べます。そのために、私たちは、考古学だけではなく、物理学、生物学、地質学などの自然科学分野を専門とする方々に協力をお願いしています。

年代測定



どれくらい前のものなのかを調べることは、遺跡の発掘では大切なことです。

私たちは、そのために年代測定で工夫をしています。



遺跡を発掘しますと、骨や貝殻など、昔の人の食べカスが見つかります。

私たちは、昔の人たちがどんなものをどのように食べていたのかを調べ、今の食生活で欠けているものが何なのかを明らかにします

骨や貝殻

古代からの 声を聴けば、 何かが見える

花粉



遺跡を発掘しますと、土の中から花粉などが見つかります。

私たちは、この花粉をつかって昔の気温や気候を調べます。私たちは、こうした成果を地球の温暖化問題を考えるための材料として、社会に紹介します。

遺跡を発掘しますと、火山灰を簡単に見つけることができます。また、山崩れや地震の跡が地層の中に残っていることもあります。

私たちは、火山灰や地層を調べて、遺跡の年代や災害の歴史を調べたりします。その成果は、今日の災害研究の大切な資料になります。

火山灰や地層





来てみませんか、 発掘現場へ、文化財収蔵庫へ



長陽村 河陽F遺跡

現地説明会

県の文化課では、発掘調査の期間中に現地説明会を開催しています。新聞等でお知らせしますので、おいでください。



出土品の見学



土器片のつなぎあわせ

職場体験事業

熊本県文化財収蔵庫に中学校の職場体験事業を受け入れております。どうぞお申し込みください。



貝殻の選別



写真の整理



熊本市鹿鹿3丁目15-12 ☎096-363-8881

文化財通信くまもと

第 19 号

平成 13 年 3 月 1 日 発行

発行 熊本県教育委員会文化課
☎096-383-1111 (内線6715)

印刷 敷島印刷(株)

12 教委 教文
③ 0 1 2